

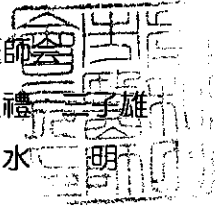
平成 27 年 8 月 24 日

岸和田市在宅医療介護連携推進協議会参加各団体担当者様

岸和田市医師会

会 長 久禮 子雄

理 事 出水 明



岸和田市在宅医療介護連携推進協議会の開催について(ご案内)

謹啓 時下ますますご健勝のことと拝察しお慶び申し上げます。

平素は本会事業に対して多大なるご指導・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年 2 月 28 日に参加各団体の皆様方のご協力で岸和田市在宅医療介護連携推進協議会の設立総会を、特別講演に厚生労働省 吉田学医療介護連携担当審議官をお招きして無事に開催し、協議会を立ち上げることが出来ましたことを深く感謝申し上げます。

本協議会は岸和田地域における地域包括ケア推進の、重要な基盤となる在宅医療介護連携の円滑な推進をその目的としております。

さて本年度の協議会開催予定ですが下記日時での開催を予定しております。お忙しいところ申し訳ありませんが、万障繰り合わせてのご出席を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(1) 平成 27 年度第 1 回協議会

平成 27 年 11 月 5 日(木) 14 時～16 時 岸和田メディカルセンター

内容：実務者担当者での協議会

(2) 平成 27 年度第 2 回協議会 (総会)

平成 28 年 2 月 13 日(土) 14 時～ 岸和田グランドホール

内容：各団体代表者を含めた総会

シンポジウム 特別講演 を予定

本年度は「自宅で安心して最後まで過ごせる地域を目指して」を協議会で取り上げるテーマとして取り組みたいと考えております。平成 25 年度事業で行いました「岸和田市での死亡場所自宅での実態調査」において、平成 24 年 1 年間の岸和田市での死亡場所自宅は 326 人(全死亡の 16%)でしたが、このうち、184 人(自宅死亡のうち 56%)が検案死となっていました。うち 86%は検案で病死および自然死とされており、突然死、あるいは孤独死、孤立死が含まれていると推測されます。自宅での検案死亡を減らし、孤独死・孤立死を防ぐためにできる取り組みを、在宅医療介護連携推進の

中で考え、実行して行きたいと思います。

例として、既に行われているものを含めて次のような取り組みを各職種・団体の中で進め、その取り組みを協議会の多職種・団体で共有・連携することが出来るのではないのでしょうか。

11月の第1回協議会では、既に行われている取り組みの報告や今後の活動方針を実務担当者間で話し合い、来年2月の第2回協議会総会でその成果や課題についてシンポジウム形式で話し合い、参加多職種・団体で共有して今後の在宅医療介護連携を進め、岸和田市での地域包括ケアの展開、市民の安全、安心につなげていきたいと思っています。

取り組みの例

- (1) 高齢者・独居者への見守り活動
- (2) 独居者への医療機関外来での安否確認または予約制での安否確認活動
- (3) がん末期や老衰・通院困難患者への積極的な在宅医療導入（外来・退院時）
- (4) 24時間対応の在宅医療・訪問看護の拡大
- (5) 入浴・階段など自宅での事故予防啓発
- (6) 防ぎうる突然死への予防対策
- (7) 施設での看取り体制の推進
- (8) 在宅での多職種連携での情報共有
- (9) 看取りを推進できるケアマネジャーの育成
- (10) 高齢者のアドバンスケアプランニング（ACP）の推進
- (11) その他